

齋藤康先生 県立千葉中学校講義案			
2008年9月27日(土曜)			
題目「新しい治療法の発見」			
過程(分)	主な発話と学習内容	話者	備考
導入(5分)	紹介 齋藤先生の紹介 齋藤先生から自己紹介	生徒	
生徒への提題 I	講義の導入 「新しい治療法の発見」というテーマです。今は当然と考えている治療法も、実は、この数十年のうちに発見されたものです。そのような薬について生徒さんたちに紹介してもらいましょう。	講師	
生徒による回答(10分)(3-4人 各3分程度)	・ワクチン ・抗生物質(ペニシリン) ・胃カメラ(日本で作られたこと、内視鏡カプセル)	生徒	
講義 I(10分)	齋藤先生が「新しい治療法」の発見にあたって、医師・研究者としてどのようなことを行ってこられたのか。ex.行ってこられた研究の概略、そして、それがどのように臨床に生かされたのか。基礎研究と臨床研究の橋渡しに関して。	講師	薬品の機序を説明する必要まではないと思いますが、なぜ調べようと思ったのか、そして研究の結果どのように患者さんのためになったか。
生徒への提題 II	今述べたような臨床への橋渡し(薬の実用化)に必要な、道筋はどのようなものでしょうか？	講師	

生徒による回答 II(10分程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研究</li> <li>・非臨床試験</li> <li>・臨床試験</li> </ul>	生徒	基礎研究は DDS、非臨床は動物実験の必要性、臨床試験については、有効性・安全性について調べてもらうのはどうか。
講義 II(10分)	生徒たちの回答を踏まえ、それを補足していただく。	講師	
生徒たちへの提題 III	現在は以上述べたような形で新しい治療法が確立されていますが、昔はどのようにして見つけていたのでしょうか。具体例について報告していただきましょう。	講師	
生徒たちの回答 III(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・華岡青洲の麻酔</li> <li>・ジェンナーの種痘</li> <li>・日本海軍の脚気</li> </ul>	生徒	
講義 III(10分)	イギリスのボランティア精神について。 倫理を確保して研究を行っていることについて。	講師	
質疑応答(残り時間)		フロア	

齋藤康先生 県立千葉中学校講義案			
2008年9月27日(土曜)			
題目「新しい治療法の発見」			
過程(分)	主な発話と学習内容	話者	備考
導入(5分)	紹介 齋藤先生の紹介 齋藤先生から自己紹介	生徒	生徒の発表はパワポ？模造紙？先に印刷しておく？
生徒への提題I (5-10分)	講義の導入 「新しい治療法の発見」というテーマです。今は当然と考えている治療法も、実は、この数十年のうちに発見されたものです。そのような薬について生徒さんたちに紹介してもらいましょう。	講師	
生徒による回答(10分)(3-4人 各3分程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワクチン</li> <li>・抗生物質(ペニシリン)</li> <li>・胃カメラ(日本で作られたこと、内視鏡カプセル)</li> </ul>	生徒	「ワクチン」については、機序とどの病気を対象とするか。「ペニシリン」はその歴史。胃カメラでは齋藤先生の胃カメラ写真を使う。
講義I(10分)	<p>齋藤先生が「新しい治療法」の発見にあたって、医師・研究者としてどのようなことを行ってこられたのか。ex.行ってこられた研究(スタチン)の概略、そして、それがどのように臨床に生かされたのか。基礎研究と臨床研究の橋渡しに関して。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・動物から人へが難しい。</li> <li>・目的は人を治すこと。</li> </ul>	講師	薬品の機序を説明する必要まではないと思いますが、なぜ調べようと思ったのか、そして研究の結果どのように患者さんのためになったか。

生徒への提題 II	今述べたような臨床への橋渡し(薬の実用化)に必要な、道筋はどのようなものでしょうか？	講師	医学・医療はトライアルの科学である。これがないと次には進めない。
生徒による回答 II(10分程度)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎研究</li> <li>・非臨床試験</li> <li>・臨床試験</li> </ul>	生徒	基礎研究は DDS、非臨床は動物実験の必要性、臨床試験については、有効性・安全性について調べてもらうのはどうか。
講義 II(10分)	生徒たちの回答を踏まえ、それを補足していただく。	講師	いくら動物で安全といっても、人で安全とは限らない。
生徒たちへの提題 III	現在は以上述べたような形で新しい治療法が確立されていますが、昔はどのようにして見つけていたのでしょうか。具体例について報告していただきましょう。	講師	
生徒たちの回答 III(10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・華岡青洲の麻酔</li> <li>・ジェンナーの種痘</li> <li>・日本海軍の脚気</li> </ul>	生徒	有吉佐和子「華岡青洲の妻」 吉村昭「白い航跡」
講義 III(10分)	スコットランドでのボランティア精神について(これもスタチン)。倫理を確保して研究を行っていることについて。	講師	
質疑応答(残り時間)		フロア	



ニュースリリース

平成20年 9月22日  
千葉大学医学部附属病院

千葉大学長による出張講義の開催について

千葉県立千葉中学校生徒を対象として「新しい治療法の発見」をテーマに

千葉大学医学部附属病院（病院長：河野陽一）臨床試験部では、厚生労働省・文部科学省の「新たな治験活性化五カ年計画」事業に基づき、平成19年7月に全国10ヶ所の治験中核病院のうちの一つとして指定を受けました。

これを受け、本院では、治験・臨床研究について広く国民に情報提供し啓発することを目的に様々な活動を行っており、その一環として、下記により、今年度設置された千葉県立千葉中学校の生徒を対象に千葉大学長による出張講義を開催しますので、お知らせします。

記

1. 日 時 : 平成20年9月27日（土）10時から（1時間半程度）
2. 場 所 : 千葉県立千葉高等学校 講堂  
（千葉市中央区葛城一丁目5番2号）
3. 講義テーマ : 「新しい治療法の発見」

なお、出張講義の概略につきましては、別紙によりご案内いたします。

また、「新たな治験活性化五カ年計画」については、下記URLへアクセス下さい。

<http://www.mhlw.go.jp/shingi/2007/03/dl/s0330-5a.pdf>

取材に際しては、貴社の腕章をご着用くださるようお願いいたします。

本件に関するお問い合わせ先

千葉大学医学部附属病院 臨床試験部

副部長 花岡英紀

Tel : 043-222-7171（内線：6467）

Fax : 043-226-2679

当日の連絡先（千葉県立千葉中学校：大窪 晋）

Tel : 043-202-7778

## 齋藤康千葉大学学長による出張講義のご案内

### 趣旨

千葉大学医学部附属病院は、厚生労働省と文部科学省が平成9年3月に発表しました「新たな治験活性化五カ年計画」に基づき、全国10施設のうちのひとつとして「治験中核病院」に指定されました(平成19年7月)。これまでの治験の実績とさまざまな取り組みについて高い評価を受けた結果だといえます。これを受け、当院では臨床試験部を中心に様々な活動を行っています。その一環として、治験・臨床研究について広く国民に情報提供し啓発することを目的に、齋藤康千葉大学学長を講師とし、今年度新たに設置されました千葉県立千葉中学校の生徒を対象に、「新たな治療法の発見」と題した出張講義を行います。ご存じのように、平成24年からの新学習指導要領で、中学の保健体育に「薬教育」が加わります。若い人たちに、治療の中で普段使用されている様々な薬がどのような過程を経て私たちの手元に届くのかを伝えることは治験・臨床研究の啓発にもつながり大変重要なことだと考えます。

### 講義テーマについて

「新しい治療法の発見」というテーマは、科学と社会の二つの側面から医学を切り取ろうという意図を持っています。すなわち、いかにして医学上の治療法の発展が進んできたのか、そして現在はいかなる形で創薬が行われているのか、という医学・薬学の営みを知る機会を提供します。また、このような医学・薬学の営みは社会的な支援があって初めて可能になる、ということについて学ぶことは、社会的な側面から見た「新しい治療法」の話題になります。新たに発見された治療法を日常の診療で安全に使うためには、治験・臨床研究へのボランティアの参加・協力が不可欠です。日本で参加者が少なくなってしまうと、他国のボランティアに頼らざるを得なくなりますが、それでよいのでしょうか。講師の齋藤がスコットランドでの経験を交えながら生徒たちと一緒に考えます。

### 対象となる千葉県立千葉中学校について

今回講義を行う県立千葉中学校は、教育理念として「社会との協同」を掲げ、社会人講演会や職場体験等を通して実社会に触れ社会に参加する力を高めることを目標の一つとしている中高一貫校です。県立千葉中学校と千葉大学医学部附属病院とは地理的に近く、この講義は大学病院がどのような役割を担っているのかについて地域の皆様に知っていただく機会であるともいえます。それゆえ、生徒の保護者の皆様にも講義を聴いていただけるように考えています。

なお当講義は、報道機関の方々のお席も別途ご用意しております。ご取材や掲載の有無に関わらず、今後の企画などのご参考になればと思います。

# 「新しい治療法の発見」

千葉大学学長

齋藤康

天然痘は恐ろしい病気であった。致死率は約30%。患者は命をとりとめた後も、一生醜いあばたや視力障害などの後遺症で苦しんだ

ジェンナーの生まれた18世紀のヨーロッパでは、100年間で6千万人もがこの病気で命を落としていた  
当時のロンドンでは、実に人口の3分の1が天然痘の傷跡を背負っていたという



アラブでは、手に傷を作り、そこに天然痘の水疱液をすりこむ方法が行なわれていた



こうした方法は、いずれも「軽い感染」を起こして「重い天然痘」の発症を予防しようというものだが、しばしば接種後に重篤な天然痘を引き起こした

私は以前牛痘\*にかかったことがありますが

牛痘になった人で天然痘にかかる人はいませんわ

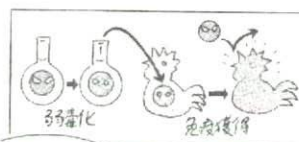


1977年ソマリアで報告された患者を最後に天然痘の発生は絶えた  
かつて世界中を覆い尽くした恐怖の伝染病は、地上から姿を消したのだ

天然痘絶滅!!  
The World is free from endemic smallpox!



1980年5月8日、世界保健機関(WHO)は天然痘の絶滅宣言を発表した  
人間の科字は200年のうち以上の病気を地球上から永久に根絶させたのである



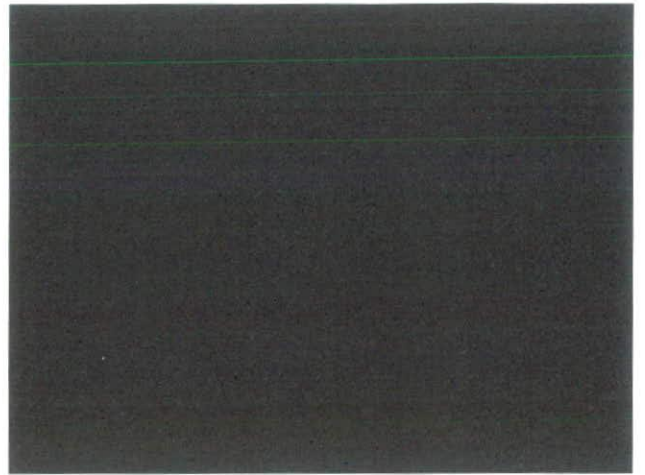
これは、80年前に、ジェンナーが観察したのと、同じ現象だ...



パスツールは、細菌を適度に弱らせて毒性を弱めることで、ワクチン(弱毒生ワクチン)を作成する方法を思い付き、1877年、ニワトリコレラのワクチン開発に成功した  
これは、世界初のバクテリアワクチンであった

北里は考えた

動物が抵抗力を  
持ったのは、血中に、  
「毒素を中和する物質」  
が出来たからだ



戦後、セントメリー病院に復帰した彼は、本格的に感染症の治療薬の研究を始めた。そして1922年、ひとつの発見をした。そのきっかけは、「失敗」であった。風邪をひいていたフレミングは、ある日実験中に、自分の鼻水を細菌の入ったシャーレに落としてしまったのだ



あれ？ 細菌が  
溶けてるぞ…



休暇から戻ったフレミングは、シャーレの中を見て「失敗」に気付いた

あーや、また  
やっちゃった

アオカビが  
生えてるよ…



おや？ これは  
どういふことだ？



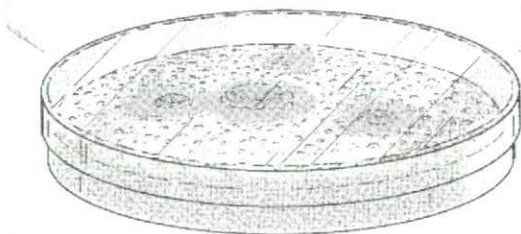


カビの周囲では  
黄色ブドウ球菌のコロニーが  
すべて溶けていた



これが、後に、世界を揺るがす大発見の  
瞬間だとは

この時のフレミングは、全く気づいていなかった——



ペニシリンは細菌の細胞壁の  
形成を阻害する薬剤である  
細胞壁は細菌の生存に必要な  
構造であるが、ヒトを含めた  
真核生物には存在しない  
細胞壁を  
合成する酵素



そのため、ペニシリンは細菌  
に対する選択性が強く、  
ヒトに対する毒性が非常に  
少ないのである

科学には「偶然の発見」といわれるものが多い  
「偶然」という言葉はしばしば、科学者の「才  
能」を否定する意味で用いられる

しかし、大切なことは、偶然の中から発見のヒント  
を見出すのは、常に科学者の「準備された心」  
であるということだ

才能というものは、そんなものかもしれない

「真理」とは、いつもそこにあり、あたり前のよ  
うにそこにあり、我々が聞こうとすれば、聞こえ  
る声で、常に宇宙の秘密を語りかけてしてくれている  
のだ

なにげなく見過ごしている日常の中にこそ、「真  
実」は宿っている

そしてそれは、我々に見出されるのを、静かに  
待っているのである

## コレステロール治療薬

1. 抗結核剤の力
2. 心臓病、脳卒中の予防
3. コレステロール原因説
4. コレステロールの代謝
5. 治療法へのアプローチ
6. 臨床効果
7. 人類への貢献

心臓病、脳卒中

血管がつまるという事実

## コレステロール治療薬

1. 抗結核剤の力
2. 心臓病、脳卒中の予防
3. コレステロール原因説
4. コレステロールの代謝
5. 治療法へのアプローチ
6. 臨床効果
7. 人類への貢献

コレステロール代謝

摂取(食事)

合成

排泄

## コレステロール治療薬

1. 抗結核剤の力
2. 心臓病、脳卒中の予防
3. コレステロール原因説
4. コレステロールの代謝
5. 治療法へのアプローチ
6. 臨床効果
7. 人類への貢献

人類への貢献

病気にならず、健康で長生きできる

## コレステロール治療薬

1. 抗結核剤の力
2. 心臓病、脳卒中の予防
3. コレステロール原因説
4. コレステロールの代謝
5. 治療法へのアプローチ
6. 臨床効果
7. 人類への貢献

非臨床試験



臨床試験

その後若い加恵の体を使って  
毒性の強い麻酔薬の効果をためした



二種類の研究

基礎研究

臨床研究

## 基礎研究

### 1. なぜ、発熱するのか？

発熱のメカニズムを明らかにする研究

### 2. 熱を下げるには？

アスピリン＝解熱剤（他にも使えるけど）

アスピリンの解熱作用を明らかにする研究

## 発熱メカニズム

ウイルスや細菌に感染すると、身体は免疫力をフルに使って、ウイルスや細菌を退治しようとします。その免疫力を高めるため、脳の体温調節中枢（温熱中枢）が平熱よりも高い温度を設定して、体温を上げていきます。これが“発熱”です。

36.5度の設定温度が40度くらいになる

## アスピリンの働きを調べる

熱が嫌なら、プロスタグランジンを  
作らないようにすればよい

アスピリンは、プロスタグランジンを作るのに  
必要な、シクロオキシゲナーゼを阻害する

サーモスタットが元に戻る！はず…

But will it  
work  
Doctor?

(先生、それは本当に効くんですか？)

## 臨床研究とは

基礎研究で  
わかったこと

発熱のメカニズム  
使いたい薬のメカニズム

理論的にはアスピリンは熱を下げる

じゃあ実際に人が使ってみて、  
本当に効果があるのか？  
そして、安全なのか？

## 臨床研究の進め方

- ・ フェイズⅠ 健康人対象  
安全性と体内での動きを調べる
- ・ フェイズⅡ 少数の患者  
安全性と有効性  
投与量・投与間隔を調べる

## 臨床研究の進め方

- ・ フェイズⅢ 多くの患者  
いままで使われていた薬と比較
- ・ フェイズⅣ 市販後調査  
これまで判明しなかった副作用  
などを調べる

## 人体実験？

ナチス・ドイツや日本731部隊による実験  
ドイツについては裁判で裁かれた  
臨床研究は、これらの人体実験とどう違うのか？

同じだ！と考える  
こともできる 今後、臨床研究できない  
新しい信頼できる治療法が生まれない

## フェイズⅠ

最初は、比較的若くて健康な大人に飲んでもらいます。副作用が起こらないかどうか、お薬の候補が体の中でどのような動きをするかといったことを調べます。

## フェイズⅡ

次に、少数の患者さんに飲んでもらいます。それが本当に病気を治す効果があるのか、副作用はどの程度か、といったことを調べます。

## フェイズⅢ

国に承認申請する前に、その薬が本当に効果があり、安全性に問題がないのを証明するために、より多くの患者さんに試験に参加してもらってデータを集めます。

## フェイズⅣ

承認・発売後も、臨床試験で確認した効き目が出ているか、副作用はないかといったことを追跡調査し、厚生労働省に報告します。



内外合一  
活物窮理

こうした医学の発展を経て身につけた信念を、吉原は「内外合一」「活物窮理」という二つの言葉であらわした

内外合一とは「医療は本来、内科・外科、漢方・蘭方と区別することなく、患者にとって最適な方法を選ぶことが大切なのだ」という考え



内外合一  
活物窮理

活物窮理とは「人の体はそれぞれ違うため、単に昔がの習わしをしたがって治療するのではなく、個々の人間にあった治療法を研究するべきだ」という考えである



その発見にいたる経過は、次のようなものである。北里は破傷風菌の培養の濾過液に毒素（トキシン）が含まれていることを発見した。そしてこの毒性を調べていくうちに、毒素を少しずつ投与していくと、やがて動物が、大量の毒素を注射しても発病しなくなることに気づいた。

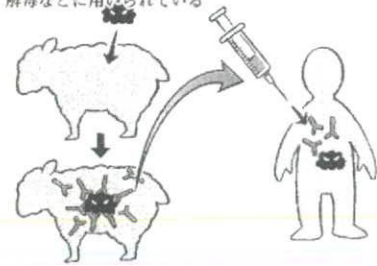
天然痘は恐ろしい病気であった。致死率は約30%、患者は命をとりとめた後も、一生醜いあばたや視力障害などの後遺症で苦しんだ

ジェンナーの生まれた18世紀のヨーロッパでは、100年間で6千万人もがこの病気で命を落としていた

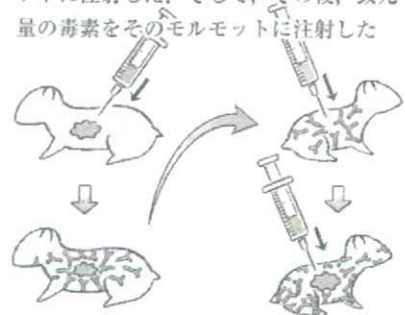
当時のロンドンでは、実に人口の3分の1が天然痘の傷跡を背負っていたという

### 血清療法の開発

その後、北里は感染症に対する画期的な新療法を開発した。「血清療法」である。これは、病原体や毒素にさらされた動物の血中に作られる抗体を治療に用いる方法であり、現在も蛇咬傷の解毒などに用いられている



北里は、破傷風毒素の耐性を獲得したモルモットの血清を分離し、健康なモルモットに注射した。そして、その後、致死量の毒素をそのモルモットに注射した



科学には「偶然の発見」といわれるものが多い。

「偶然」という言葉はしばしば、科学者の「才能」を否定する意味で用いられる。



しかし、大切なことは、偶然の中から発見のヒントを見出すのは、常に科学者の「準備された心」であるということだ。

才能というものは、どんなものかもしれない。



「真理」とは、いつもそこにあり、あたり前のようにそこにあり、

我々が問こうとすれば、聞こえる声で、常に宇宙の秘密を語り

かけてくれているのだ。

なにげなく見過ごしている日常の中にこそ、「真実」は宿っている

そしてそれは、我々に見出されるのを、静かに待っているのである。

## 本日の講演に関するアンケート

2008/9/27(土)

問一 配布したパンフレットについて

- (1) わかりやすい (2) まあまあわかりやすい (3) 普通 (4) ややわかりにくい
- (5) よくわからない

問二 講義中の声について

- (1) 聞き易い (2) まあまあ聞き易い (3) 普通 (4) やや聞きにくい (5) 聞きにくい

問三 スライドの文字について

- (1) 見易い (2) まあまあ見易い (3) 普通 (4) やや見にくい (5) 見にくい

問四 講師の説明の仕方について

- (1) 理解し易い (2) まあまあ理解しやすい (3) 普通 (4) やや理解しにくい
- (5) 理解しにくい

問五 この授業全体に対する印象について

- (1) とても知的興味をもてた (2) 知的興味をもてた (3) どちらともいえない
- (4) あまり知的興味をもてなかった (5) 全く知的興味をもてなかった

問六 臨床試験についてどのくらい理解できたと思いますか

- (1) 十分理解した (2) やや理解した (3)なんとなくわかった
- (4) ピンとこなかった (5) 全然わからなかった

問七 臨床試験について家族に説明できそうですか

- (1) できる (2) たぶんでできる (3) 一部ならできる (4) わからない (5) 不可能

問八 将来、何か機会があったとき臨床試験に参加しようと思いますか

- (1) 思う (2) 思わない (3) どちらともいえない

問九 日本で臨床試験の参加者が減っています、どうすればよいとおもいますか

- (1) 日本で参加者を増やすようにがんばる (2) 外国の人たちに頼る
- (3) 特に問題とは思わない (4) その他(自由記述)

(裏面に続く)



問十 問九で(1)を選んだ方、  
どうやったら日本で参加が増えると思いますか？(自由記述)

問十一 大学病院への見学会があったら参加したいですか  
(1) 参加したい (2) 参加したくない (3) どちらでもない

問十二 参加したい場合は、何を見てみたいですか(自由記述)

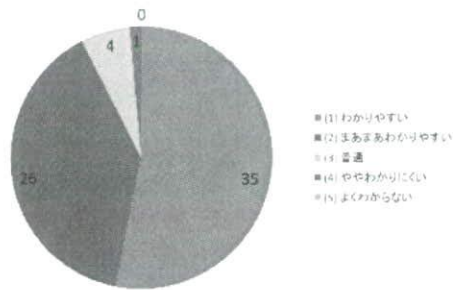
問十三 次回はどのような内容の話を聞きたいですか

問十四 その他、何かご意見があればご記入ください

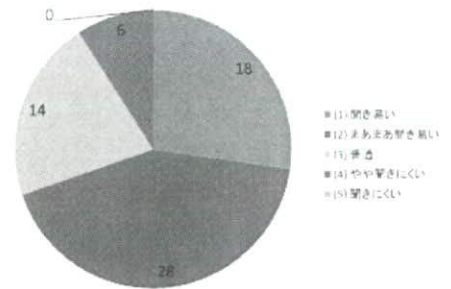
講演を聴いていただきましてありがとうございます。  
今後の活動の参考にさせていただきます。

千葉大学 齋藤康  
担当事務局 千葉大学医学部附属病院 臨床試験部

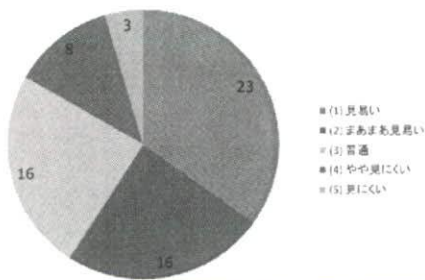
問1 配布したパンフレットについて



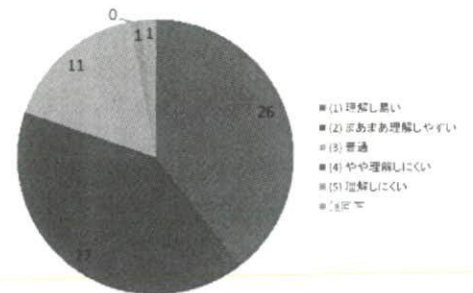
問2 講義中の声について



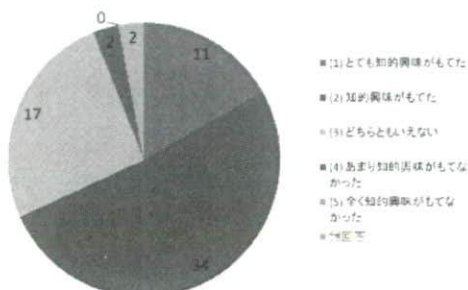
問3 スライドの文字について



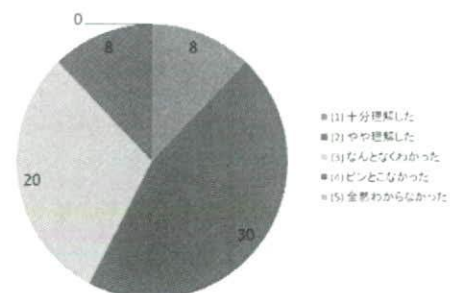
問4 講師の説明の仕方について



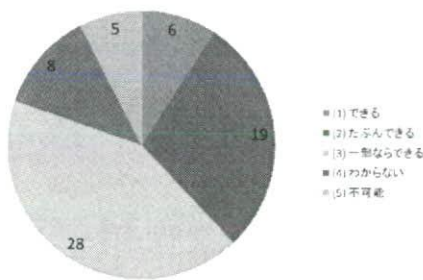
問5 この授業全体に対する印象について



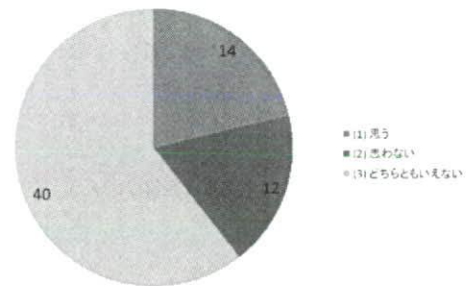
問6 臨床試験についてどのくらい理解できたと思いますか



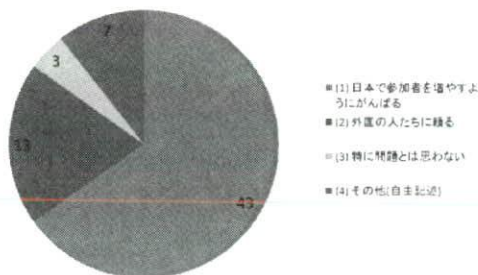
問7 臨床試験について家族に説明できそうですか



問8 将来、何か機会があったとき臨床試験に参加しようと思いますか



問9 日本で臨床試験の参加者が減っています、どうすればよいとおもいますか



問9で、(4)自由記述 を選択した方の回答

- ・サルにやらせる(サルは人間に近いから)
- ・臨床実験ということについて、詳しく知っている人が少ないと思うので、テレビCMや、病院にポスターをはるなどしてたくさんの方が知っているようにするとよいと思う
- ・臨床試験に参加した人にもみ保険料の一部を免除すべき
- ・参加賞みたいな何かプレゼントをする(参加者に)
- ・日本で参加者を増やすようにがんばるのはもちろん、外国の人たちにも増やすよう呼びかける

問10 問9で(1)を選んだ方、どうやったら日本で参加者が増えると思いますか？(自由記述)－1

- ・臨床試験を受けることによって何か特権(特典)がつけようにする。
- ・呼びかけをする。
- ・きちんとみんなに説明する。
- ・小さな講演をたくさんひらく
- ・宣伝
- ・日本での参加者を増やすこととして今日のような講義を続けて欲しいです。
- ・臨床試験の大切さを広く知らせる。また、病気の怖さ、新薬の可能性についても安全性を説明する
- ・医療に関心を持ってもらえるようにする

問10 問9で(1)を選んだ方、どうやったら日本で参加者が増えると思いますか？(自由記述)－2

- ・安全ということの呼びかけ
- ・安全性の確立
- ・現状を訴え、参加者をつくる(呼びかける)。何か補助金を出すとか？
- ・懸賞金やCMなど
- ・献血みたいに宣伝する。
- ・CMなどで広める
- ・臨床試験の場を見てもらう
- ・臨床試験の必要性や意味などを広める。
- ・臨床試験がどういうものなのかもう少し、皆に知らせた方がよいと思う。
- ・CMで宣伝する。

問10 問9で(1)を選んだ方、どうやったら日本で参加者が増えると思いますか？(自由記述)－3

- ・大切さをうたえる
- ・「絶対に安全だ」と思えなければ誰だってやりたくないと思うので…。わかりません。
- ・魅力的な部分が、いい所を広める
- ・臨床試験が安全であることや、それによってどのようなメリットがあるのかを説明する
- ・参加者の必要性をみんなに知ってもらう
- ・臨床実験について多くの人に理解してもらう
- ・呼びかけや演説などをする。
- ・臨床試験の大切さを訴えていくのがよいのでは…

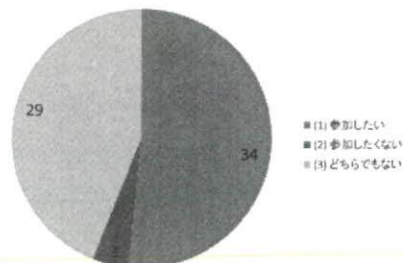
問10 問9で(1)を選んだ方、どうやったら日本で参加者が増えると思いますか？(自由記述)－4

- ・ポスター等で臨床試験の大切さなどを呼びかけたり、このような講演などで現状を教える。
- ・臨床試験をすると税金が減るや、いろいろなキャンペーンをする等
- ・CMやパンフレットで国民の意識を上げる
- ・参加者が何か得をするようにしたいと思う。大学病院で治療を受けたときは〇%引きになるとか…。(前、献血を駅前の所でやっていたのですが、キティちゃんのグッズをプレゼントしてました…)。リスクとかそういうのを一般の人たちにもっと説明するのも大事だと思う。
- ・もっと「医学が人を救うという素晴らしさ」を、医学者たちが講演などを積極的にしていただければよいと考えます。

問10 問9で(1)を選んだ方、どうやったら日本で参加者が増えると思いますか？(自由記述)－5

- ・おそらく、臨床試験のことを知っている人は少ないと思うので、CMを放送したりすると、臨床試験に興味を持ってくれるのではないかと思います。
- ・しっかりとした説明をすることが大切だと思います。
- ・参加してくださった方々にボールペンなど参加賞をあげる。
- ・臨床試験について伝えていって、わかってもらう。
- ・もっと臨床試験の存在を知ってもらえばよい。
- ・CMやポスターなどで呼びかける
- ・参加者にもう少しサービスや参加した特典を付ける。
- ・そういう案内を自治会などに配ってもらいたいと思う。
- ・もっとPR活動をする。
- ・臨床試験について様々な宣伝をする。

問11 大学病院への見学会があつたら参加したいですか



当日参加者内訳

